

いのちの言の葉2014

富山県教育委員会平成26年度いのちの教育総合支援事業

「命のたいせつさ」

富山市立船嶮小学校4・5・6学年
平成26年11月12日実施

水井先生は、立山町立釜ヶ淵小学校(平成26年11月17日)においても、いのちの授業をされました。

【いのちの先生】

高田 恵子先生
・助産師



私を産んでくれてありがとう。そして支えてくれてありがとう。特に、小学校4年生の時、私がつらくて泣いていたときも、お母さんとお父さんは「そんなことを気にしないで」「自分をせめちゃかわいそうだよ」と何度も声をかけてくれてありがとう。私はどんなに大切にされてきたのか、やっとわかることができたよ。これからもよろしくね。



いつもいろいろなことをしてくれてありがとう。命の勉強をして、私が産まれてきたのは、お父さんとお母さんのおかげだと思います。私は、たくさんの命の中から産まれてきたと思うので、これからも自分の命を大切にしていきたいと思っています。これからもよろしくお願ひいたします。



ぼくを苦労して産んでくれてありがとう。ぼくは産まれてくる時の記憶はないけれど、ぼくもお母さんもがんばったということがわかりました。命の大切さを知ったからには、これから命を大切にしていくなためにホカホカ言葉をいっぱい使いたいです。